

●事例紹介●  
舞鶴工業高等専門学校の  
学生表彰制度について

中尾 ゆかり

(舞鶴工業高等専門学校学生課長)

一 はじめに

高等専門学校（以下、高専という。）は工学系の学科を中心に、中学校卒業後の一五歳から二〇歳までの五年間一貫した専門教育で、実践的技術者を育成する高等教育機関である。

しかし、高専は大学や短大と比べ知名度はあまり高いとはいえないかもしれない。高専の学校数は全国に国立五五、公立五、私立三の計六三校であり、平成一六年度で学生数は約五万八七〇〇人と大学の四八分の一である。見方を変

えれば一校あたり平均九〇〇人の「目の行き届く」規模の学校といえよう。

舞鶴高専は、第四期校として他の国立六高専とともに昭和四〇年度に設立され、今年で四〇周年を迎え四月に盛大に記念式典を行った。

二 表彰の種類

今回の主題である学生の表彰制度については、本校では学則で「学生として表彰に値する行為があった場合には表彰することがある」と定めている。高専の一つの例として

見ていただければ幸いである。

表彰の種類と基準は、次のとおりとなっている

- (一) 「皆勤」 欠席・欠課がなかった者
- (二) 「精勤」 欠課時間が一〇時間以内の者
- (三) 「学業成績優秀者」 各学科クラスで学業成績優秀で人物が優れている者

これらは一年から三年までと在学五年間の二回表彰される。また、

- (四) 「課外活動」 全国大会等で優勝、準優勝の成績を収めた個人または団体。または優勝等とならなかったが本校の声価を高めた個人または団体

- (五) 「学生の模範」 学術活動で顕著な功績を収めた者、社会的に顕著な善行のあった者等、学生の模範となる活動を行った者

表 表彰基準

種類	基準	時期
(1) 皆勤	1～3年まで欠席、欠課がなかった者 5年間を通じ欠席、欠課がなかった者	年1回 卒業式
(2) 精勤	1～3年まで欠課が10時間以内の者 5年間を通じ欠課が18時間以内の者	年1回 卒業式
(3) 学業成績優秀者	1～3年まで成績優秀で人物が優れている者 各学科1名 5年間を通じ成績優秀で人物が優れている者 各学科1名	年1回 卒業式
(4) 課外活動	全国レベルの大会で優勝または準優勝した個人、団体 全国レベルの大会で優勝または準優勝とならなかったが、本校の声価を高めた者	その都度 その都度
(5) 学生の模範	学術活動で顕著な功績を収めた者 社会的に顕著な善行のあった者 その他学生の模範となる活動を行った者	その都度 その都度 その都度



学生活動で表彰される学生

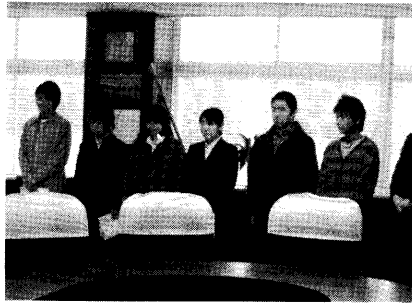


卒業式で表彰される学生

### 三 選考方法

これらの表彰に該当する者がある場合は、クラス担任、学科長、クラブ顧問、指導教員等からの推薦により、教務主任が委員長となる教務委員会で審議し、校長が決定することとなる。

表彰式は教務主任、学生主任、寮務主任の三主任及びクラス担任、指導教員等の関係教員同席のもと、校長から表



表彰された学生

彰状が授与され、あわせて記念品を贈ることがある。

本校では一六年度に皆勤、精勤賞を中心に学生会やクラブ活動に対して九九名が表彰された。

### 四 表彰の事例

高専ロボットコンテスト（ロボコン）や全国プログラミングコンテスト（プロコン）等で、地区大会で優勝し、全国で上位に入賞したり、特別審査員賞などを受け、学生の活躍、努力が認められる場合にも表彰が行われる。

このようないわゆる定例的な学校表彰以外に、他機関からの表彰がある。

最近の例をいくつか挙げると、本校は長年にわたり毎年二回全校で献血に協力しており、その推進活動に対して学生会が厚生労働大臣表彰を受けた。

また、国民体育大会（国体）に府の代表として参加し優勝した学生が、京都府や舞鶴市から表彰された例がある。

さらに、一六年度は学生会が中心となり七〇名以上の学生が台風二三号の舞鶴市災害復旧のためのボランティア活動に参加し、高専祭で台風災害や新潟中越地震に対する募金活動を行った。また、年末のスマトラ沖地震の時は被災国からの留学生とともに被災者支援のための義捐金を募つ

た。これらの活動に対し、舞鶴市から青少年の善行表彰を受けた。

このように学校以外から学生の表彰を受けるのは学生自身にとっても喜ばしいことで、学校と地域とのつながりも深まることになり大変有意義である。

### 五 選考時の留意点

クラブ顧問や担任だけでなく学校教職員が学業、課外時間に関わらず学生に目を配り、日頃の学生の全体像を見て表彰に値する事柄を推薦することが必要である。さらに本校のように約六割の学生が寮生活を送っている場合は、学校が生活の場そのものなので、学生は学業もクラブも十分に活動でき、学校との関係も密接になることはメリットである。

皆勤賞や学業成績優秀賞のように定例的な表彰以外にも、地味で小さいことでも他の学生のお手本となるようなことを学校がきちんと顕彰すれば、他の学生にも励みとなり良い効果をもたらすことができる。

### 六 今後のあり方

このように学生の努力を認め、評価して表彰する制度は今後もさらに充実させる必要がある。また、定例的な表彰以外にも、校長特別賞や主事表彰などいろいろな表彰の方法があれば、時期を失することなく素早く対応することができ、学生に高い教育効果が期待できることとなる。